

「AI銘柄ナビ」が示した有名企業200社の騰落予測

※株価は5月2日終値

銘柄名(証券コード)	株価	1か月後のAI予測	銘柄名(証券コード)	株価	1か月後のAI予測
キッコーマン (2801)	1450.5円	▲	ニッスイ (1332)	862.3円	▼
味の素 (2802)	3003円	▲	INPEX (1605)	1824円	▼
ニチレイ (2871)	1937円	▲	大成建設 (1801)	7593円	▼
日清食品ホールディングス (2897)	3137円	▲	大林組 (1802)	2212.5円	▼
JT (日本たばこ産業) (2914)	4488円	▼	清水建設 (1803)	1528円	▼
J.フロントリテイリング (3086)	1749円	▲	長谷工コーポレーション (1808)	2026.5円	▲
マツキヨココカラ&カンパニー (3088)	2639円	▼	鹿島建設 (1812)	3424円	▼
ZOZO (3092)	1492円	▲	大和ハウス工業 (1925)	5192円	▼
三越伊勢丹ホールディングス (3099)	1849.5円	▼	積水ハウス (1928)	3288円	▼
東急不動産ホールディングス (3289)	1013円	▼	日揮ホールディングス (1963)	1159円	▼
セブン&アイホールディングス (3382)	2225円	▼	日清製粉グループ本社 (2002)	1846円	▼
帝人 (3401)	1193円	▲	明治ホールディングス (2269)	3541円	▼
東レ (3402)	914.8円	▲	日本ハム (2282)	5462円	▼
クラレ (3405)	1678円	▲	エムスリー (2413)	1785.5円	▼
旭化成 (3407)	1009.5円	▼	ディー・エヌ・エー (2432)	3660円	▼
SUMCO (3436)	1001円	▼	サッポロホールディングス (2501)	7839円	▼
王子ホールディングス (3861)	660.7円	▼	アサヒグループホールディングス (2502)	1992円	▲
レゾナックホールディングス (旧・昭和電工) (4004)	2671.5円	▼	キリンホールディングス (2503)	2147円	▲
住友化学 (4005)	357.4円	▼	双日 (2768)	3463円	▼
東ソー (4042)	2027.5円	▼	セリア (2782)	2839円	▼

AI予測の見方

大幅上昇 (10%以上)
▲ 上昇 (0~10%未満)
▼ 下落 (0~10%未満)
大幅下落 (-10%以上)

「AI銘柄ナビ」は、AIが市場に与える影響を予測し、1か月後の株価を上昇させるか下落させるかを予測する。予測は、過去5年分の株価データを取り込んで予測が立てられている。まずは簡単な株価の方向性がわかるサービスです。

ニトリが大幅上昇のワケ

一覽表で目立つのが「下落」の多さだ。やはりトランプ関税ショックに伴う不透明感は拭えないよう、200社の7割近くの株価が下がるという予測が出ている。なかでも「自動車」関連の銘柄は、下落の予測が多い。

※/マネックス証券が提供する「AI銘柄ナビ」の結果(5月2日終値ベース)を元に表を作成。銘柄名は証券コード順に並べた。上場後3年以上を経過した銘柄が対象。AIによる予測は、その正確性、完全性、適時性や将来の成果を保証するものではありません。また、投資勧誘を目的とするものではありません。

「マネー最前線」

有名企業200社 AI株価予測

マネックス証券が完全協力!

AI銘柄ナビ

AI銘柄ナビ

「AI銘柄ナビ」は、AIが市場に与える影響を予測し、1か月後の株価を上昇させるか下落させるかを予測する。予測は、過去5年分の株価データを取り込んで予測が立てられている。まずは簡単な株価の方向性がわかるサービスです。

マネックス証券のHPより

前項の清原達郎氏の投資術はいわば、超上級者の向け。初・中級者の銘柄選びの一助となるのが、最新の「AI(人工知能)」による株価予測だ。乱高下する相場をどう見通すのか、有名企業200社の未来を探った。

ネット証券大手のマネックス証券は、株価予測

サービス「AI銘柄ナビ」を提供している。同社と投資助言会社「MILIZE IN VESTMENT」が共同開発し、20年から主要ネット証券で初めて提供を開始。証券口座を開設していなくても、登録すれば無料で利用可能だ。AIがさまざまなデータを学習し、1か月後の

株価の騰落を予測。サイト上に「大幅上昇」「上昇」「下落」「大幅下落」の4段階の矢印で示される。同社プロダクト部の米内征也氏が説明する。「株価や業績、国内外の株価指数、為替や金利など、240以上のデータ

をAIが取り込んで、1か月後の株価トレンドを予測します。10%以上の株価上昇が見込める場合は「大幅上昇」、10%未満のプラスは「上昇」、マイナス10%未満なら「下落」、マイナス10%以上なら「大幅下落」です。直近の動きも加味して

1か月後に「上がる株」/「下がる株」

トランプ関税ショックで不透明な値動きを最新の人工知能はどう読んだのか

「AI銘柄ナビ」が示した有名企業200社の騰落予測

銘柄名(証券コード)	株価	12月31日のAI予測	銘柄名(証券コード)	株価	12月31日のAI予測
LINEヤフー (4689)	533.8円	▲	トクヤマ (4043)	2840円	▲
トレンドマイクロ (4704)	10435円	▲	信越化学工業 (4063)	4528円	▲
サイバーエージェント (4751)	1228円	▲	三井化学 (4183)	3171円	▲
楽天グループ (4755)	831.1円	▲	三菱ケミカルグループ (4188)	704.5円	▲
富士フイルムホールディングス (4901)	3053円	▲	UBE (旧・宇部興産) (4208)	2076円	▲
コニカミノルタ (4902)	446円	▲	野村総合研究所 (4307)	5492円	▲
資生堂 (4911)	2333.5円	▲	電通グループ (4324)	2962円	▲
出光興産 (5019)	902.9円	▲	メルカリ (4385)	2265円	▲
ENEOSホールディングス (5020)	692.3円	▲	花王 (4452)	6037円	▲
横浜ゴム (5101)	3179円	▲	武田薬品工業 (4502)	4419円	▲
ブリヂストン (5108)	6022円	▲	アステラス製薬 (4503)	1458円	▲
AGC (5201)	4465円	▲	住友ファーマ (4506)	941円	▲
太平洋セメント (5233)	3806円	▲	塩野義製薬 (4507)	2457円	▲
TOTO (5332)	3834円	▲	中外製薬 (4519)	8620円	▲
日本碍子 (ガイシ) (5333)	1798.5円	▲	エーザイ (4523)	4271円	▲
日本製鉄 (5401)	2995円	▲	テルモ (4543)	2831円	▲
神戸製鋼所 (5406)	1660円	▲	第一三共 (4568)	3702円	▲
JFEホールディングス (5411)	1667.5円	▲	大塚ホールディングス (4578)	7697円	▲
日本製鋼所 (5631)	5761円	▲	オリエンタルランド (4661)	3164円	▲
三井金属鉱業 (5706)	3882円	▲	フジメディアホールディングス (4676)	2770円	▲

森永卓郎 読んではいけない 日本経済への大反響発売中 日本経済への大反響発売中 日本経済への大反響発売中

連は、トヨタ自動車(7203)や本田技研工業(ホンダ、7267)の「大幅下落」をはじめ総じて下落予測の結果となった。「為替相場が円安から円高に転じていることも大きい。ほかにも、東京エレクトロン(8035)をはじめとする「半導体」関連、日立製作所(6501)、ソニーグループ(6758)といった「電機・ハイテク」関連の多くが下落予測に。輸出で稼ぐ外需系銘柄には厳しい見方を示しています。AIは今後、円高に向かうと予測していることがわかります(岡田氏)。

対照的に、円高が追い風になると見られるのが「内需系」銘柄だ。

「関税の影響を受けにくいとされるアサヒグルーブホールディングス(以下、HD、2502)、キリンHD(2503)、キッコーマン(2801)、味の素(2802)といった「食品」、イオン(8267)などの「小売」といった内需系は上昇予測が目立つ。なかでも製品を輸入して販売するためニトリHD(9843)は、「大幅上昇」予測となっています(岡田氏)。

貿易の停滞が懸念されるなか、藤井氏が注目したのは伊藤忠商事(8001)。

「2期連続で過去最高益更新の見通しですが、AIは下落と判断した。それだけ円高圧力による先行きを不安視したのでしよう」

一方、東日本旅客鉄道(JR東日本、9020)をはじめ「鉄道」関連は比較的、上昇が目立つ。

「インバウンド需要が定着し、鉄道株は関税の影響を受けずに業績拡大が期待できる。直近で年初来高値をつけたからか東海旅客鉄道(JR東海、9022)が「大幅下落」などAI予測は弱気に映るが、もっと強気に見ていい(藤井氏)」

ベストセラー作家が冷めても手放さず、ついでにもいい振る舞い方を伝授



70すぎたらサメエダガル

老害にならない 魔法の言葉 定価980円(税別) 小学館

銘柄名(証券コード)	株価	12月31日のAI予測	銘柄名(証券コード)	株価	12月31日のAI予測
日立製作所 (6501)	3673円	▲	三菱マテリアル (5711)	2247円	▲
三菱電機 (6503)	2810.5円	▲	住友金属鉱山 (5713)	3115円	▲
ニデック(旧・日本電産) (6594)	2618.5円	▲	DOWAホールディングス (5714)	4535円	▲
オムロン (6645)	4337円	▲	古河電気工業 (5801)	4420円	▲
ジーエス・ユアサコーポレーション (6674)	2475.5円	▲	住友電気工業 (5802)	2339.5円	▲
日本電気(NEC) (6701)	3495円	▲	フジクラ (5803)	5529円	▲
富士通 (6702)	3154円	▲	リクルートホールディングス (6098)	8250円	▲
ルネサスエレクトロニクス (6723)	1733円	▲	アマダ (6113)	1453円	▲
セイコーエプソン (6724)	1920円	▲	ディスコ (6146)	28420円	▲
パナソニックホールディングス (6752)	1687円	▲	日本郵政 (6178)	1356.5円	▲
シャープ (6753)	852.9円	▲	SMC (6273)	47000円	▲
ソニーグループ (6758)	3732円	▲	小松製作所(コマツ) (6301)	4256円	▲
横河電機 (6841)	3152円	▲	住友重機械工業 (6302)	2982.5円	▲
アドバンテスト (6857)	6337円	▲	日立建機 (6305)	4307円	▲
キーエンス (6861)	62840円	▲	クボタ (6326)	1672.5円	▲
デンソー (6902)	1906円	▲	荏原製作所 (6361)	2229円	▲
レーザーテック (6920)	13230円	▲	ダイキン工業 (6367)	17260円	▲
ファナック (6954)	3720円	▲	日本精工 (6471)	627.9円	▲
京セラ (6971)	1704円	▲	NTN (6472)	223.5円	▲
村田製作所 (6981)	1991円	▲	ジェイテクト (6473)	1129円	▲

「2期連続で過去最高益更新の見通しですが、AIは下落と判断した。それだけ円高圧力による先行きを不安視したのでしよう」

一方、東日本旅客鉄道(JR東日本、9020)をはじめ「鉄道」関連は比較的、上昇が目立つ。

「インバウンド需要が定着し、鉄道株は関税の影響を受けずに業績拡大が期待できる。直近で年初来高値をつけたからか東海旅客鉄道(JR東海、9022)が「大幅下落」などAI予測は弱気に映るが、もっと強気に見ていい(藤井氏)」

銘柄名(証券コード)	株価	1か月前のAI予	銘柄名(証券コード)	株価	1か月前のAI予
川崎汽船 (9107)	1949円	▲	大和証券グループ本社 (8601)	921.2円	▲
NIPPON EXPRESSホールディングス (9147)	2560.5円	▲	野村ホールディングス (8604)	790円	▲
日本航空 (9201)	2629.5円	▲	SOMPOホールディングス (8630)	4530円	▲
ANAホールディングス (9202)	2782.5円	▲	MS&ADインシュアランスグループホールディングス (8725)	3243円	▲
TBSホールディングス (9401)	4626円	▲	第一生命ホールディングス (8750)	1014.5円	▲
日本テレビホールディングス (9404)	3245円	▲	東京海上ホールディングス (8766)	5649円	▲
テレビ朝日ホールディングス (9409)	2556円	▲	三井不動産 (8801)	1456円	▲
日本電信電話 (9432)	151.1円	▲	三菱地所 (8802)	2578.5円	▲
KDDI (9433)	2575円	▲	住友不動産 (8830)	5468円	▲
東京電力ホールディングス (9501)	415.6円	▲	東武鉄道 (9001)	2677円	▲
関西電力 (9503)	1660.5円	▲	東急 (9005)	1775円	▲
東京瓦斯 (9531)	4748円	▲	小田急電鉄 (9007)	1601円	▲
大阪瓦斯 (9532)	3634円	▲	京王電鉄 (9008)	3946円	▲
東宝 (9602)	7776円	▲	京成電鉄 (9009)	1489.5円	▲
NTTデータグループ (9613)	2963.5円	▲	東日本旅客鉄道 (9020)	3256円	▲
セコム (9735)	5380円	▲	西日本旅客鉄道 (9021)	3087円	▲
コナミグループ (9766)	20760円	▲	東海旅客鉄道 (9022)	3236円	▲
ニトリホールディングス (9843)	16780円	▲	ヤマトホールディングス (9064)	2077.5円	▲
ファーストリテイリング (9983)	47990円	▲	日本郵船 (9101)	4662円	▲
ソフトバンクグループ (9984)	7405円	▲	商船三井 (9104)	4599円	▲

業績が赤字見通しにも
かわらず、上昇予測の
企業もある。

「フジ・メディアHD(4676)は201億円の最終赤字予想だが、モノ言う株主の介入によって見直され、株価も上昇が続いてきた。AIもそうしたトレンドをフォローした予測となっていることが窺えます(岡田氏)」

AIの予測に岡田、藤井両氏は頷くことも多かったが、異なる見解を示したのは任天堂(7974)だ。6月発売の新型「ニンテンドースイッチ2」への期待の高さから上場来高値の更新が続く。

「AIは高値警戒感を強めていくのかもしれないが業績への貢献はこれから。まだまだ上昇が望めると見ます(藤井氏)」

AIがすべて正解を導き出せるわけではない。ただ、これだけ難解な局面においては騰落予測の一助として活用する余地はありそうだ。

「AI銘柄ナビ」が示した有名企業200社の騰落予測

銘柄名(証券コード)	株価	1か月前のAI予	銘柄名(証券コード)	株価	1か月前のAI予
キヤノン (7751)	4535円	▲	日東電工 (6988)	2625.5円	▲
リコー (7752)	1533.5円	▲	カナデビア(旧・日立造船) (7004)	926円	▲
バンダイナムコホールディングス (7832)	5041円	▲	三菱重工業 (7011)	2791.5円	▲
ヤマハ (7951)	1064円	▲	川崎重工業 (7012)	8432円	▲
任天堂 (7974)	12360円	▲	IHI (7013)	11225円	▲
伊藤忠商事 (8001)	7042円	▲	日産自動車 (7201)	346.4円	▲
丸紅 (8002)	2536円	▲	いすゞ自動車 (7202)	1945.5円	▲
三井物産 (8031)	2782.5円	▲	トヨタ自動車 (7203)	2780円	▲
東京エレクトロン (8035)	21140円	▲	日野自動車 (7205)	458.6円	▲
住友商事 (8053)	3503円	▲	三菱自動車工業 (7211)	398.6円	▲
三菱商事 (8058)	2640.5円	▲	マツダ (7261)	873円	▲
ユニ・チャーム (8113)	1343円	▲	本田技研工業 (7267)	1484円	▲
高島屋 (8233)	1100円	▲	スズキ (7269)	1781円	▲
イオン (8267)	4250円	▲	SUBARU (7270)	2634.5円	▲
三菱UFJフィナンシャルグループ (8306)	1737.5円	▲	ヤマハ発動機 (7272)	1144.5円	▲
りそなホールディングス (8308)	1040円	▲	良品計画 (7453)	4769円	▲
三井住友トラストグループ (8309)	3418円	▲	ニコン (7731)	1404.5円	▲
みずほフィナンシャルグループ (8411)	3437円	▲	オリンパス (7733)	1961円	▲
SBIホールディングス (8473)	3677円	▲	SCREENホールディングス (7735)	9660円	▲
オリックス (8591)	2867.5円	▲	HOYA (7741)	18055円	▲

同じ業界内
でも明暗

トランプの影響がプラスに働くと見られたのが「防衛」関連銘柄だ。「トランプ政権が日本に防衛費負担を迫ると見られるなか、三菱重工業(7011)が大幅上昇、IHI(7013)も上昇が予測される(藤井氏)」

業界内で明暗分かれる予測になったのが「建設」業界だ。清水建設(1803)が「大幅上昇」なのと対照的に、大成建設(1801)や大林組(1802)などが「大幅下落」となった。

「いずれも業績好調ですが、AIでは差異が生じた。清水建設は大阪万博で主体的な働きをしたことが評価されたのか。いずれにしても業界全体で捉えるのではなく、データーをきめ細かくAIが精査していることの現われにも見えます(岡田氏)」